

# 校長室通信



南小国町立南小国中学校

令和元年 10 月 4 日 (金) No20  
文責 狹間卓史



## 憧れの場所

9月21日(土)、熊本市にある「笑顔健康スタジアム」を会場に、熊本県中体連陸上大会が開催されました。本校からも「1500m(1年生の部)」に武田孝介くん(1年生)が阿蘇郡市の代表として出場しました。

観客席も人で溢れかえり、歓声沸き起こる中での競技でした。そういう緊張するであろう雰囲気にも飲まれることなく4分53秒60の自己新記録で走りきることができました。

そして、全力で駆け抜けたゴール正面の応援席には、顧問の高宮教諭とともに男子陸上部のメンバーが陣取り大声で声援を送る姿もありました。(もう一人の顧問の益田教諭は阿蘇郡市全体の役員をしており正面スタンドからの応援でした。)憧れの場所を全力で駆け抜けた武田くんと、その姿に全力で声援を送る仲間の部員。その場にいた全員が「次こそは」との思いを持ったはずです。

それぞれがそれぞれの新たな目標を目指し、また練習の日々がスタートしました。



【激走!】

## 育てたい力

9月24日(火)～26日(木)の三日間で、本校一年生が町内で民泊農業体験でお世話になりました。このことについては、また別の号でお伝えしますが、この取り組みに先立ち、町内で就農していらっしゃる井野航輔さんによる「講話」と、一般社団法人子供教育創造機構理事の赤井友美さんによる「プレゼンテーション講習会」を実施しました。

井野さんは本校卒業生で、早くから将来は地元で就農したいとの気持ちを持っていらっしゃるそうです。その目標を実現しての現在ですが、夢は次々に広がり、その夢をどうやって実現していくのか、追いかける充実の日々だそうです。

また、赤井さんには6月に実施した「まちインターン」に引き続き、この民泊農業体験でもコーディネートいただいております。今回の学習をどのようにまとめて他者に伝えていくのかということに重点を置いた講習会を開いていただきました。

主体的に取り組む力と、自分の思いや考えを伝えていく力。そのいずれもがこれからの社会では強く求められる力です。だからこそ本校ではこれからも機会をとらえ繰り返し繰り返し取り組んでいきます。



【夢を追って】

## 継承～地域の一員として～

9月20日(金)、「吉原天満宮秋の例大祭」に本校の佐藤涼真くんが神楽の舞い手として出演しました。担任の高宮教諭が見学に行くとのことでしたので、私も同行させていただきました。その日は夜に会議が予定されていたため短時間しか滞在できず、涼真くんの晴れ姿そのものを参観することは叶わなかったのですが、同じ舞い手の方から日頃から頑張っている様子など聞かせていただき嬉しい時間となりました。



【つなぐ思い】

夕暮れ時の提灯の灯りに照らされた境内は厳かな雰囲気があり、地域の方々によって大切にされてきた祭りであることが伝わってきました。こういう雰囲気の中で地域の方々から様々なことを学び受け継ぐことの素晴らしさを楽しみ感じました。

このほかにも、7月に実施された市原祇園祭でも多くの本校生徒が様々な役割を担わせていただきました。

地域を築く一員として育てていただくことは本校生徒にとって何よりの財産ともいえる体験です。これからもあらためてよろしくお願ひいたします。